

「日本型収益事業」の形成過程

～ 日本競馬事業史を通じて～

萩野 寛雄

目次

序章

第一節	収益事業研究の今日的課題		
	P	1	
第二節	先行研究		P
		2	
第三節	分析の枠組み		
	P	5	
第四節	論文の構成		
	P	10	

第一章 現行収益事業制度

第一節	現行制度のあらまし		
	P	1	6
第二節	法的システム		
	P	2	3
第三節	現行制度の確立		
	P	2	6
第四節	事業別の内容		
	P	2	8

第二章 「収益事業（広義）」の成立過程

第一節	収益事業の定義		
	P	4	6
第二節	市営事業の成立・発展過程		
	P	4	9
第三節	都市の「公共事業団体化」		
	P	5	0
第四節	収益主義的経営発生の背景		
	P	5	0
第五節	市営事業の収益主義的経営とそれを巡る論争		P 53
	1 第四回社会政策学会大会での論争		
	2 大審院判決をめぐる論争		
	3 「都市問題」誌上における論争		
第六節	収益主義的経営の終焉		
	P	6	1

第三章 「競馬」の歴史

第一節	競馬の定義		
-----	-------	--	--

	P 66		
第二節	「古式競馬の歴史」	6	7
	P		
第三節	本邦における「古式競馬」		
	P 69		
第四節	「近代競馬」の誕生と発展		
	P 70		

第四章 本邦における近代競馬の受容

第一節	近代競馬の受容～江戸末、明治初期の競馬～		P 75
第二節	近代競馬の始まり～ツールとしての競馬～		
	P	7	7
第三節	馬券の歴史と賭博感の形成		
	P	8	1
第四節	軍事ツールとしての競馬		
P 85	第五節 馬券黙許		
	P	8	9

第五章 競馬法の制定

第一節	馬券禁止		P 98
第二節	補助金競馬		
	P	1	0
第三節	地方競馬の成立		
	P	1	6
第四節	競馬法の制定過程		
	P	1	7
第五節	競馬法の内容		
	P	1	1
第六節	地方競馬の発展		
	P	1	5

第六章 競馬事業の変遷 ～ 救護法との関連を中心に

～

第一節	救護法成立までの公的扶助の流れ		P121
第二節	救護法成立の時代背景		
	P	1	2
第三節	救護法の内容と問題点		
	P	1	2
第四節	救護法実施促進運動		
	P	1	2
第五節	民政党の緊縮財政政策		
	P	1	2
第六節	競馬倶楽部の成長		

	P	1	2	8
第七節	昭和4年の競馬法改正			
	P	1	3	0
第八節	競馬財源の登場と当時に至る競馬の流れ			
	P	1	3	2
第九節	昭和6年の競馬法改正			
	P	1	3	2
第十節	議会での論戦			
	P	1	3	5

第七章 競馬事業に見る戦時体制

第一節	戦前・戦後の連続説と非連続説			
	P	1	3	9
第二節	競馬に見る非連続			
	P	1	4	1
第三節	昭和6年の改正以降			
	P	1	4	2
第四節	競馬事業に見る戦時体制			
	P	1	4	6
		1		
		2		
		3		
第五節	その後の競馬			
	P	1	6	0
第六節	地方競馬の戦時体制			
	P	1	6	2

終章 「日本型収益事業」の確立

第一節	終戦直後の財政状況			
	P	1	6	5
第二節	戦後の市営事業			
	P	1	6	6
第三節	戦後の競馬事業			
	P	1	6	7
第四節	公営ギャンブルの誕生			
	P	1	7	0
第五節	日本型収益事業の形成過程(まとめ)			
	P	1	7	1